

第5弾



志布志モデル海を渡る

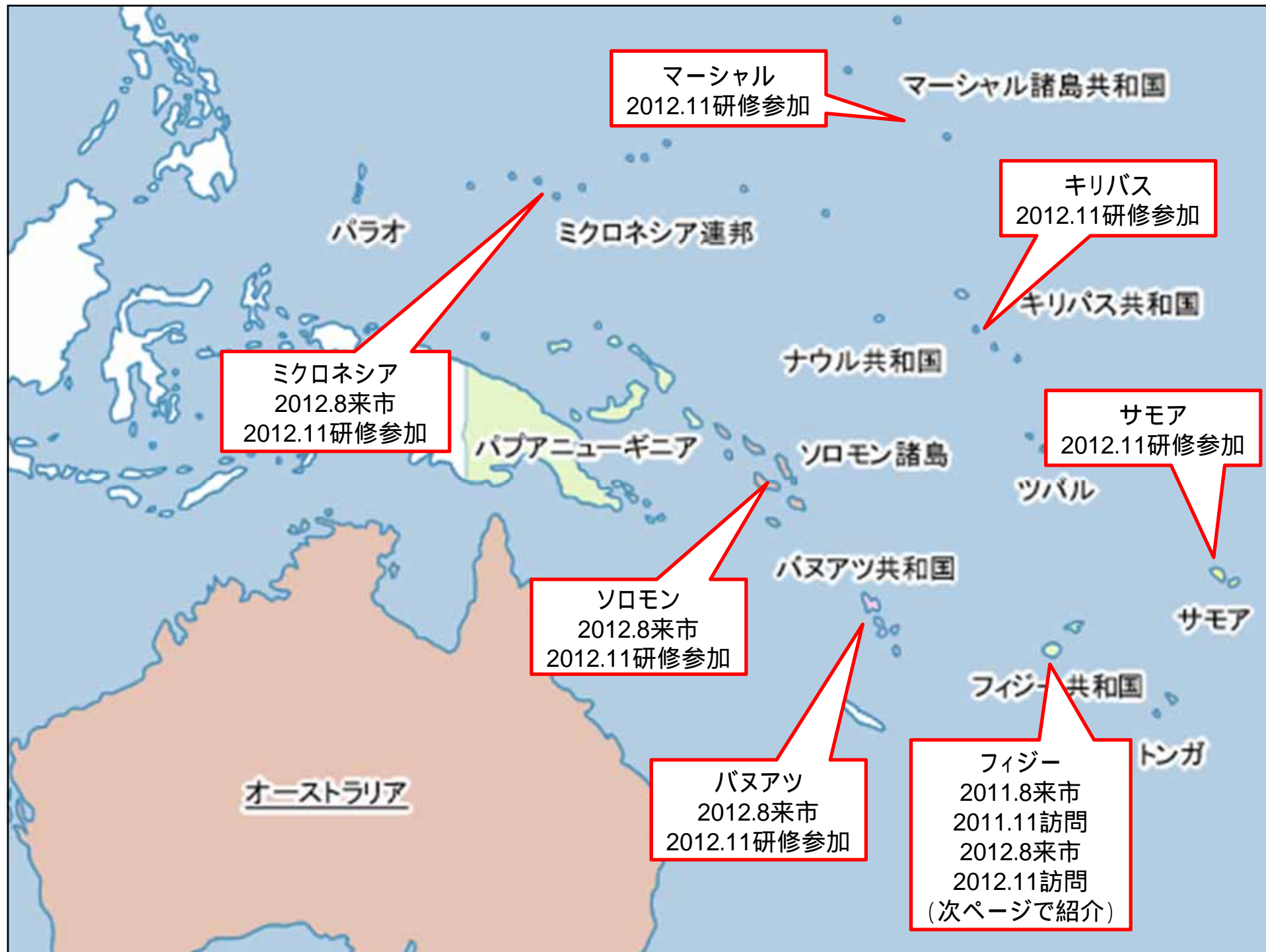
JICA草の根技術協力事業

「フィジーを中心とした大洋州における
志布志市ごみ分別モデルの推進」

2012年度（2年次）活動報告



「志布志モデル」とは、焼却なしで
ごみを分別し埋立ごみを減らす共生
協働の取り組みのことです。



マーシャル
2012.11研修参加

キリバス
2012.11研修参加

ミクロネシア
2012.8来市
2012.11研修参加

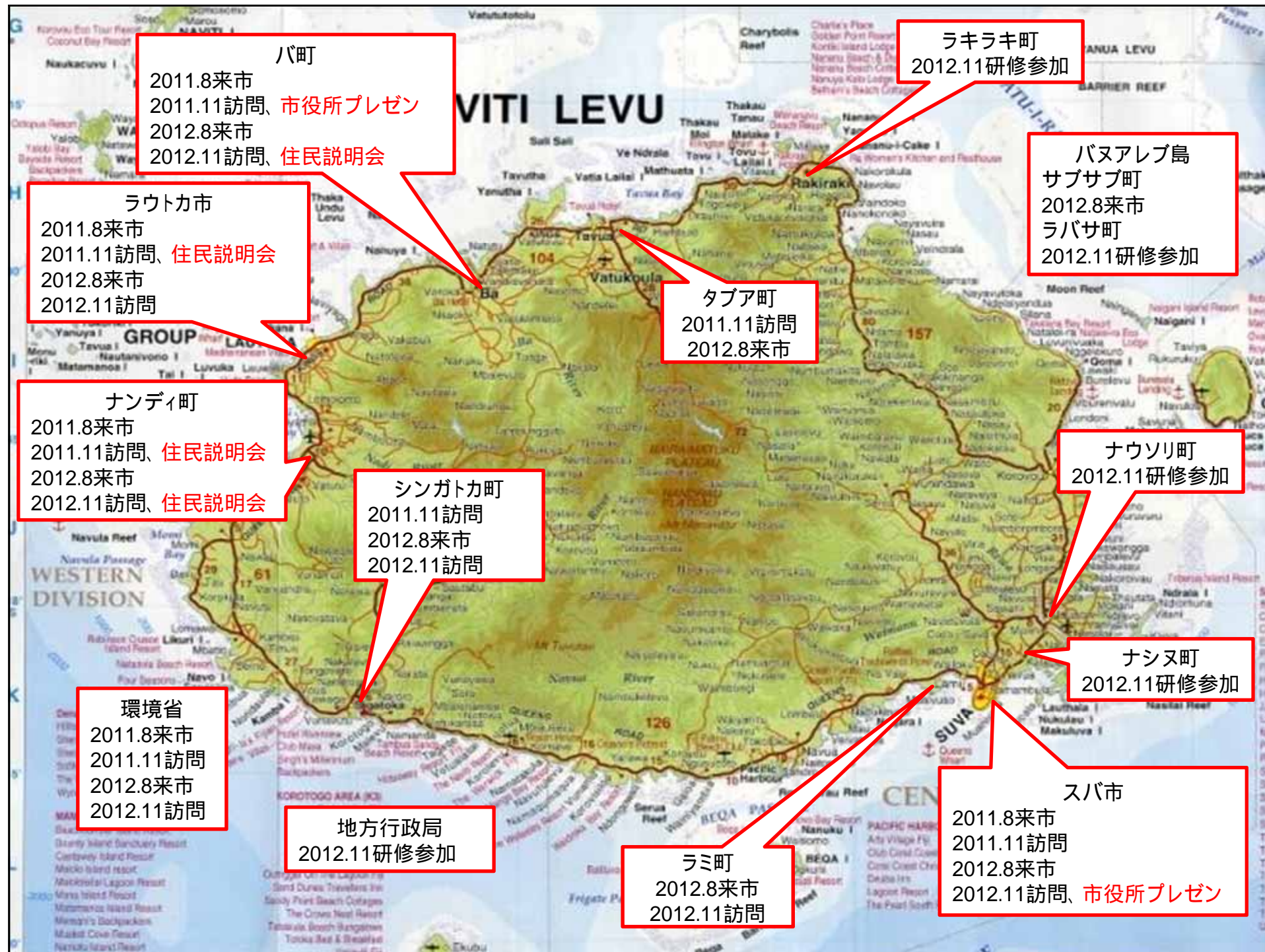
サモア
2012.11研修参加

ソロモン
2012.8来市
2012.11研修参加

バヌアツ
2012.8来市
2012.11研修参加

フィジー
2011.8来市
2011.11訪問
2012.8来市
2012.11訪問
(次ページで紹介)

オーストラリア



バ町
2011.8来市
2011.11訪問、市役所プレゼン
2012.8来市
2012.11訪問、住民説明会

ラキラキ町
2012.11研修参加

バナアレブ島
サブサブ町
2012.8来市
ラバサ町
2012.11研修参加

ラウトカ市
2011.8来市
2011.11訪問、住民説明会
2012.8来市
2012.11訪問

タブア町
2011.11訪問
2012.8来市

ナンディ町
2011.8来市
2011.11訪問、住民説明会
2012.8来市
2012.11訪問、住民説明会

シンガトカ町
2011.11訪問
2012.8来市
2012.11訪問

ナウソリ町
2012.11研修参加

環境省
2011.8来市
2011.11訪問
2012.8来市
2012.11訪問

ナシヌ町
2012.11研修参加

地方行政局
2012.11研修参加

スバ市
2011.8来市
2011.11訪問
2012.8来市
2012.11訪問、市役所プレゼン

ラム町
2012.8来市
2012.11訪問

受入事業 H24.8.22-9.3 (13日間)

フィジーを中心とした大洋州の廃棄物管理担当職員及び住民リーダーを受け入れ、本市の廃棄物管理の取り組みの紹介、産業の紹介、職場体験の実施、処理施設の視察、交流会の実施等を行いました。

参加者：フィジー9名、ミクロネシア2名、
バヌアツ1名、ソロモン2名

面倒くさいのススメ



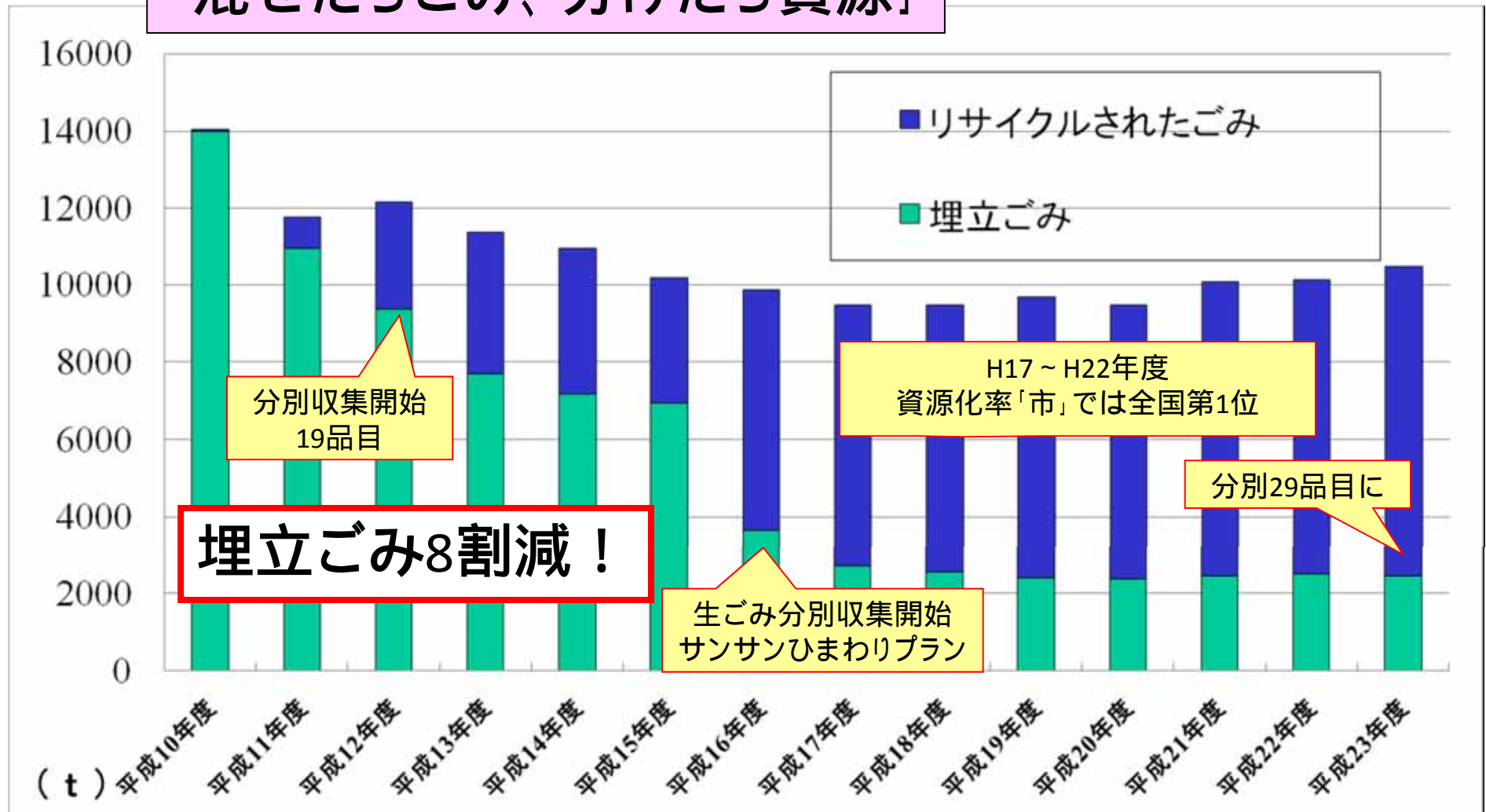
整然と分別排出されていることに驚かされていました。

同じ時間に、教えあって

ごみステーションの管理は自分たちで

志布志市の廃棄物量の推移

「混ぜたらごみ、分けたら資源」



埋立処分場の延命化・衛生面の改善

H2供用開始 埋立容量 72万立方メートル
15年後（H16）には満杯になる（建設当時）??



あと30年以上は大丈夫！
悪臭がない、ハエ・カラスがいない

平成24年8月
志布志研修



フィジー9名
ミクロネシア2名
バヌアツ1名
ソロモン2名



平成24年8月
志布志研修

「彼女たちのお陰で……」



人づくりは国づくり



派遣事業 H24.11.18-11.29 (12日間)

1. 志布志モデルの紹介とトレーニング

フィジーを中心とした大洋州の廃棄物管理担当職員をフィジーに集まってもらい、志布志市の環境施策の紹介としぶしモデルのトレーニングを行いました。

JICA大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト(J-PRISM)と連携して実施しました。

2. 住民説明会

いくつかの市役所・役場を訪問し、住民説明会の実施、収集運搬及び堆肥化に対するアドバイス並びに志布志モデルの紹介などを行ってきました。

3. 参加者:

フィジー16名、キリバス1名、マーシャル諸島1名、サモア1名、ソロモン2名、バヌアツ1名

4. 評価

研修参加者は、行動を起こしている。

2012.11.20 志布志モデルトレーニング





2012.11.20 志布志モデルトレーニング

2012.11.19

青年海外協力隊、シニア海外ボランティア
彼らの志に感動しました





2012.11.21 ラウトカ最終処分場視察



2012.11.23 八最終処分場視察

2012.11.23 住民説明会(バ町)

志布志モデルの紹介：「志布志も以前はあなたたちと同じことをしていた。あなたたちもできる」と話しました。



2012.11.19 ~ 11.23 J-PRISM主催3R地域研修参加者一同



「廃棄物管理において 分別排出の必要性、 結果として最終処分場の減量化・衛生面の改善が図られること、 住民と行政の共生協働により廃棄物管理を通じてより良い地域社会を形成できることを伝えてきました。